る社会をめざし 立し

とを意味します。 おけるすべての過程」で、自分で ないというだけでなく、恋愛、セ 日本では「性と生殖に関する健康 ツという言葉を知っていますか? 決める自由、権利があるというこ と権利」と訳されています。この ックス、妊娠・出産など「生殖に 言葉は、単に病気でない、障害が リプロダクティブヘルス・ライ

会会長の大田静香さんに伺いまし つければ良いか、武蔵野市助産師 ージごとにどのようなことに気を 自分の体について、ライフステ

ライフステージに

おける体の変化

が妊娠・出産にふさわしい時期と ルモン分泌が正常か?卵管の通り 排卵が規則的に起きているか?ホ 合は、女性側では月経が順調か? 子どもを持ちたいと考えている場 か、子どもを産むか産まないかは、 いえますが、結婚をするかしない 人ひとりが選択できる権利です。 医学的には、20代から30代半ば

が始まる前から生理用品の使い方

お子さんがいるご家庭では、月経

順などのトラブルがつきものです。

ムがまだ整わず、月経痛、月経不

発になり、心身ともに大きく変化

思春期は性のホルモン分泌が活

思春期

する時期です。女子は、月経リズ

も体調を気にしてあげたりすると を教えたり、月経が始まってから うにしておくと安心につながりま お子さんが安心して相談しやすく かりつけ医を持って相談できるよ なります。悩みがある場合は、か

私だちのからだを大切心しよう!

一リプロダクティブベルス・ライツー

せぬ妊娠や性感染症のリスクが高 まります。 をしてしまうと、望まない、予期 ますが、十分な知識もなく性行為 性的成熟はだんだん早まってい

の体について正しい知識を得るこ とが大切です。 を守るために、この時期から自分 なる重要な時期です。将来の健康 思春期は、将来の健康の根幹と

更年期

あります。女性も男性も、 障害は女性だけでなく、男性にも 出てくることがあります。更年期 ライラするなど、体と心に不調が 更年期には、めまい、動悸、イ お互い

にて思春期相談なども行っている。を務める。武蔵野市内クリニック

の「生と性」に関する講

盛座の講師

のちの授業」、一般・保護者向け

都内で小・中・高校生対

対象の「いど師会会長。

助産師。武蔵野市助産

大田

静香さん】

ができるか、精子の量や運動率に は良いか?など、男性側では射精 体についての知識を身につけた上 分の体に関心を持つことは健康の す。子どもを持たない場合も、自 条件を満たしている必要がありま 問題はないかなど、妊娠・出産の ライフプランを考える必要があり で、自身の体力、健康を考慮して 維持につながります。この時期の

患率が上がります。初期の自覚症 検診、相談ができるかかりつけの 出てから受診するより、定期的に 状がないこともあるため、症状が がん、30代半ば以降で乳がんの罹 き、定期的な検診を受けるように 病院があると早期発見につながり しましょう。20代、30代で子宮頸 婦人科疾患についても知ってお

> 性の正しい知識 般常識に を

ることが大切です。 報が全て正しいものとは限りませ 得るのはどこからでし いように、正しい知識を身につけん。間違った知識で困ることがな ます。しかし、そこで得られる情 も様々な媒体から情報が入ってき ンターネット、友人の わたしたちが性に関

シンボルマーク

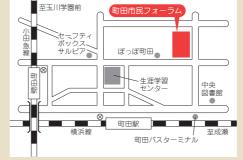
れるようにしましょう。 ようにしておき、自分の健康を守困ったことがあったら相談できる かりつけ医を持っておくことで、 専門の相談機関を知って いることが安心につながります。 ことがあるときに、話せる相手が不安になったとき、相談したい おく、

男女平等推進センター

町田市男女平等推進センターは、男女が平等で、一人ひとりが個性と能力を充分 に発揮できるよう、市民の活動の拠点として町田市が設けた施設です。

【男女平等推進センターの主な事業】

- 1.「町田市男女平等推進計画」の推進
- 2. 男女平等推進に関する情報の収集・提供
- 3. 男女平等推進に関する各種講座、講演会の開催
- 4. 男女平等推進に関する活動をする団体・グループへの支援



良いアドバイスがもらえるかもし

れません。

ず過ごしていくことが

を責め立てるのではない

また、医療機関に相談_

してみると、

大切です。

無理せ

2020年1月10日発行

「支え合いと連帯で

目指す

平坐

第20回

〈発行・編集〉 町田市 市民部市民協働推進課 男女平等推進センター 〒194-0013 町田市原町田4-9-8 **☎**042-723-2908